

4年間の学びのステップとカリキュラム

4年間の学び	1年次	2年次	3年次	4年次
クラス制で幅広く中国学を学修。 漢文の訓読・中国語の基礎を身につける	中国古典に対処する力II 漢文訓読力を養う	中国の古典を原書で読む。 また、文学含む、史学文献・ 哲学(含む、史論思想)の中から 深く学びたい分野を選択し掘り下げる	文学・歴史・ 哲学・芸術から 特定のテーマを 選び、卒業論文に	取得できる 資格・免許 教育職員(二種) 免許状 (中学校国語、 高校国語書道) 司書・司書教諭 博物館学芸員 社会教育士 (養成課程)

全学 共通科目	専門 教育科目		基礎 教育科目	
	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
必修科目 総合体育A・B このほかに、中学校、高等学校教員免許等の希望者は、教職に関する科目、教育実習(4年)などそれぞれの免許に必要な科目を履修します。	中国語学基礎演習1・2(芸歴) 英語リーディングA・B/フランス語基礎1A・1B・2A・2B ドイツ語基礎1A・1B・2A・2B/基礎英語A・B 口語英語A・B/総合英語A・B/時事英語A・B 英米文化表現A・B/英米作品講読A・B 現代英語応用A・B/フランス語初級1A・1B・2A・2B ドイツ語初級1A・1B・2A・2B	中国語学基礎演習1(唐詩) 中国文学基礎演習1(論語) 漢文入門 中国語入門 中国語学基礎演習2(十八史略) 中国哲学基礎演習2(孟子) 中国語基礎演習	中国語学基礎演習3・4 フランス語中級 1A・1B・2A・2B・3A・3B・4A・4B ドイツ語中級 1A・1B・2A・2B・3A・3B・4A・4B 中国語中級1A・1B・2A・2B・3A・3B・4A・4B ロシア語中級A・B ス페인語中級A・B	上級コミュニケーション英語A・B 上級時事英語A・B上級英語A・B フランス語上級1A・1B・2A・2B ドイツ語上級1A・1B・2A・2B 中国語上級1A・1B・2A・2B
選択科目	古典入門 中国書道史A・B 日本書道史A 美術概論 美術教育1~3 美術研究1~3	中国哲学史 中国文学史 漢字教育法	中国語特別演習1 中国語特別演習2 中国語特別演習3 中国語特別演習4 中国語特別演習5 中国語特別演習6	卒業論文 中国語特別演習2 中国語特別演習3 中国語特別演習4 中国語特別演習5 中国語特別演習6

よく学び、
力を備え、
社会へと
羽ばたこう！

真ん中に
文化がある。

DAITO BUNKA
100
周年記念パンフレット

こんな君、いつしよに飛び立とう！
中国語圏の文学や思想・歴史に興味を持っている人
書道芸術に関心の高い人
卒業後に海外での仕事や国際的な活動に取り組みたい人
中国語の語学力を高め、留学してみたい人

中国文学学科

中国四千年の歴史を支えてきたものは何か？
そして、日本にどのような影響を与えたのか？
漢字、文学、思想——
さあ、中国文学へのパスポートを手に入れよう！

中国文学科で
身につく
3つの力！

- 1 漢文の読解力
中国の文学・哲学・史学の
古典文を
読解することにより、
漢文訓読力の
向上を図ります。
- 2 中国文化への理解力
文学をはじめ、
哲学・思想、歴史、
書道芸術などを通して、
中国人の
精神的背景となつている
伝統的な文化への
理解を深めます。
- 3 中国語の語学力
基本的な
中国語の能力を高め、
中国語文献を
読解できる能力を
養います。

学校法人大東文化学園
大東文化大学

中国文学科

卒業後の
主な進路

- 中学校教員
- 高等学校教員
- 国家公務員
- 地方公務員
- 大学院進学
- 出版・マスコミ
- 業界従事者
- サービス業界
- 従事者
- 金融・保険業界
- 従事者
- 建設・不動産
- 業界従事者
- 製造業界従事者
- 卸売・小売業界
- 従事者など

文学

六朝詩文・唐詩・文言小説など、
中国の文学・哲学・史学の古典文を読解することにより、
漢文訓読力の向上を図ります。

哲学・ 思想

四書、五経、諸子百家など、
中国人の精神的背景となっている
伝統的な思想への
理解を深めます。

中国文学科

学校法人大東文化学園
大東文化大学

中国の古典や歴史的な文化を総合的に理解し、東洋文化に根差した知識や感性を養えます

書道

漢文や中国語と並行して書道を学ぶことができるため、
国語だけでなく書道の教員免許も
取得することができます。
高校で本大学出身の書道の先生に学び、
その先生の勧めで本学へ入学した学生も大勢います。

中国語

ネイティブスピーカーの教員とともに
実用的な中国語能力を高め、
コミュニケーション力の向上を図っています。
さらに、中国や台湾の大学と提携しており、
国際交流センター主催の短期・長期の留学プログラムや
学科の奨学金留学の制度を利用して
学ぶことが可能です。

教授

Ohashi
Yoshiharu

大橋由治

中国の説話を研究しています。中国の説話には日本に影響を与えたものもあります。例えば「山月記」です。
これは日本の小説ですが、唐代の説話「李徴」が原話です。唐代の説話と「山月記」では同じ部分と異なる部分があります。
この二話の違いから異なる理由を考えることは日本と中国の相違点を理解し、それぞれの国をより深く理解することです。
我々の周囲に文化はあふれ、文化は多様ですが、言語に代表される文化の核は徐々にしか変化しません。

教授

Tsumagari
Shinichi

津曲真一

専門は宗教学。特に仏教をはじめとする東洋思想について研究をしています。東洋思想は決して過去の遺物ではありません。
アップルの共同設立者スティーブ・ジョブスは日本人禅僧のもとで学び、禅の思想をビジネスに活かして成功しました。
また、現代日本人の思考や行動パターンの中にも、東洋思想の影響が強く残っています。
皆さんもぜひ東洋思想を学び、現代社会を読み解くツールとして、現代を生き抜く知恵として活用して下さい。

教授

Yamaguchi
Yoji

山口謠司

ぼくは、大東文化大学文学部中国文学科の卒業生です。大学の博士課程後期に進学後まもなく、
英国ケンブリッジ大学東洋学部にも研究員として就職しました。イギリス、ベルギー、フランスを拠点に、
海外に散在する日本や中国の古籍の調査を行ってきましたが、まだまだ発見されていない本が、国内外に埋もれています。
本が好きな人がいらつしゃれば、ぜひ一緒に調査や研究をしたいと思っています。

准教授

Kozuka
Yoshihiro

小塚由博

中国の明・清時代の文学を専門としています。その中でも詩や文章・小説・書画等を制作した作者、
つまり文人と呼ばれる人たちの多種多様な生活や文化、交遊関係等に焦点をあてて研究しています。
授業では漢文訓読の基礎を教えます(1年生、文言小説「剪灯新話」、白話小説「三国志演義」「水滸伝」「西遊記」等を読んだり(3年生)して、
その面白さを皆さんと考えていきます。あなたも一緒に中国の古典作品を読んでみませんか。

准教授

Obi
Takao

小尾孝夫

皆さんこんにちは。中国文学科の小尾孝夫です。私の専門は六朝史です。3年生のゼミでは、正史「三国志」の輪読を中心に、
三国時代史や「三国志演義」の問題について学習しています。なお私は、普段六朝史を研究する際、
中国古代中世史を把握しつつ個別の問題を考究することを心がけています。ですので、4年ゼミ生の卒論指導では、
中国の秦漢から隋唐にかけての時代をもカバーしています。中国の歴史や文化に興味関心のある方は、ぜひ一緒に勉強しましょう。

特任准教授

Miyazaki
Junichi

宮崎潤一

中国文学科の宮崎潤一です。専門は国語科教育です。3年生4年生になり教職課程で中学校・高等学校の国語科の免許取得を希望する学生は、
私と一緒に「主体的・対話的深い学び」のある国語科教育を創造しましょう。今年も「大東国語2号」が完成しました。
「教員を志す学生による国語科教育実践」集です。3年生での模擬授業において他の学生のリアクションを承けて自分の授業を再検討したり、
4年生での教育実習での研究授業での授業研究会での指導をうけて授業の再構築をしたりといった内容です。今回は学生が主体的につくりました。
今回、編集長のY氏が編集後記で「正直教育実習前に読みたかた」と書いているのがとても印象的でした。他に井上靖という作家の研究会の事務局もしています。

専任講師

Takahashi
Mutsumi

高橋睦美

中国文学科の高橋睦美です。私の専門は中国思想、主に「老子」の研究をしています。
『老子』には、実は現代社会に生きる私たちにも役立つ知恵がたくさん詰まっています。
現代は時代により遅れないように、知識やスキルを身につけて勝組になれるようにと、様々な情報が人を追い立てています。
しかし、誰かと争って生きていく人生は、本当に幸せでしょうか？心の底から満ち足りた生き方を見つけるヒントが「老子」にはあります。

専任講師

Kamezawa
Takayuki

亀澤孝幸

私の専門は中国書道史と書論です。書は紙や墨といった物質的基盤に依拠して存在しています。
とはいえ、書は物質の世界だけで成り立っているわけではありません。書がたんなる技法を超えた「芸術」とみなされるようになるには、
理論の発展が不可欠です。それに深く関わるのが「書論」とよばれる書に関する芸術論や批評の存在です。
物質と観念の両面から書の本質を捉えたい。それが私の研究テーマです。

助教

Ishikawa
Kaoru

石川薫

大東文化学院の設立から始まった大東文化大学の歴史は2023年に100年を迎えます。大東文化学院は高等教育機関としては珍しく、
中国語を必修第一外国語としていました。つまり、本学の中国語教育の歴史も100年という、長い時間を有しています。
私は「日本における中国語教育の歴史」を研究しており、「大東文化大学における中国語教育の歴史」もその研究対象としています。
皆さんも中国語教育100年の歴史を持つ大東文化大学で、私たちと一緒に中国語を学んでみませんか。

私たちが中国文学の世界をナビゲートします